



12月 町屋幼稚園だより

令和6年11月29日

荒川区立町屋幼稚園

園長 関川 浩

人との関わりを通して

主任教諭

私たち教員は毎年1年間のテーマを決めて、毎月園内研究会を行っています。今年のテーマは『環境に自ら関わり主体的に活動する幼児の育成 「遊び」と「学び」をつなぐ教師の援助や環境を探る～人との関わりを通して～』です。昨年まで積み重ねてきた小学校との連携をさらに深めながら、「人との関わり」に焦点をあて、様々な人と関わりを豊かな経験につなげていけるよう実践を重ねています。

年少ひよこ組では、一人一人が安心して自分の思いを出すようになってきました。遊びの中でお家ごっこをする中で、大きなウレタン積み木の置き場所で思いが食い違う場面がありました。「こっちに置きたい!」「えー、それはだめ!」と互いになかなか譲らない様子…。困った顔をして、言葉だけではなく表情や動きで気持ちを表す姿もあります。教員は解決を急がず、「そうなんだね。こっちに置きたいんだね。」「でも〇〇さんはこっちに置きたいんだね。どうしようか。」と一緒に考えていきます。自分の気持ちを受け止めてもらい、友達の思いに触れる経験をじっくり重ねられるようにしています。

年長いるか組では、第七峡田小学校の5年生と一緒に小学校の展覧会に向けた作品制作に取り組んでいます。「ここにドングリをつけたらどうかな?」「もっと大きいお家にしたいな!」など、5年生に自分の考えたアイデアを嬉しそうに伝えていました。これまでに様々な人と関わる経験を積み重ねてきたことが、小学生にも安心して思いを伝え、共通の目的に向かって一緒に作品を作り上げようとする姿につながっていると感じました。

相手に自分なりに思いを伝えたり、相手の思いに触れたりする経験を幼児期に積み重ねることは、小学校以降の学びにもつながっていきます。うまくいくことも時には思いが伝わり切らないこともあります。人との関わりからたくさん学ぶ子どもたちを今後も支えていきたいと思っています。

《今月のねらい》

【年 少】○寒い日も園庭や保育室で友達や教師と一緒に元気に遊ぶ。

○季節ならではのいろいろな園の行事に喜んで参加する。

【年 長】○友達と共通の目的に向かって取り組み、やり遂げた充実感を味わう。

○冬休みになることや一年が終わることを感じながら、友達との遊びを楽しんだり、園の行事に参加したりする。



身近な自然は不思議がいっぱい!

今年は暑い日が続き短い秋でしたが、11月は園庭や第七峡田小学校のみどりの小路などで、身近な自然にたくさん触れました。年少組はみどりの小径できれいな色の落ち葉を見つけました。保育室に持ち帰って嬉しそうに眺めたり、魚つりごっこの魚に見立てて遊んだりしています。荒川自然公園への遠足では形も大きさも色も様々なドングリをたくさん見つけました。年長組は幼稚園でドングリ転がしのゲームを作って楽しんでいました。不思議だな、きれいだな、おもしろいな…。自然と触れ合い心を動かされている子どもたちです。

小学校のみどりの小径を探検



荒川自然公園で秋の自然をたくさん発見。
遊びに生かして楽しんでいます。

